

# 第6次高浜市総合計画 中期基本計画

## 施策課題カルテ

目標

(9)安全・安心が実感できる地域づくりを進めます

〔とりまとめG〕 都市政策部 都市防災グループ

〔担当G〕 都市政策部 上下水道グループ

# I. 目標と目標の達成状況

## 1. 目指す姿と目安となる指標

目標	<b>(9)安全・安心が実感できる地域づくりを進めます</b>					
目標達成に向けての考え方	近い将来に発生が予測される大震災に加え、集中豪雨・台風・火災などの災害、身近に起きる犯罪・交通事故から生命を守り、被害を最小限に食い止めるため、市民・地域・事業者・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たしつつ、地域ぐるみで安全・安心に暮らせる環境を築いていきます。					
目標が達成された姿	① 市民一人ひとりの防犯や防災に対する意識が高まっています。 ② 「自助」「共助」「公助」を基本とした防災・減災対策、防犯・交通安全対策など、安全・安心を守る活動が地域ぐるみで行われています。 ③ 誰もが安全で安心だと感じながら暮らしています。					
指標の状況	みんなで目指すまちづくり指標	現状値(H25)	実績値(H26)	実績値(H27)	実績値(H28)	目標値(H29)
	1) 自分自身が災害(地震や風水害など)への備えができていると思う人の割合	32.5%	37.6%	39.0%		45%
	2) 人口1,000人あたり犯罪発生件数	12.9件	8.5件	7.5件		12.0件以下
	3) 人口1,000人あたり交通事故発生件数	5.0件	4.3件	4.1件		4.0件以下

## 2. 市民意識調査結果

設問	現状値(H25)	実績値(H26)	実績値(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)
安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う	56.3%	55.5%	56.8%		

## 3. 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)

- ・指標1)は、策定時(H25)より6.5%、H26より1.4%増加した。これは、全国各地で発生している大規模な地震や風水害等の自然災害を踏まえ、市民一人ひとりの自助に対する意識が高まっているものと考えられる。今後も、防災訓練、防災リーダー養成講座、防災講話等を通じ、災害時における自助の重要性を周知していきたい。
- ・指標2)は、策定時(H25)より5.4件、H26より1.0件減少した。これは、青色回転灯装備車や徒歩によるパトロール、赤色回転灯を活用した防犯活動、防犯ローラー作戦(警察と連携した戸別訪問)など、町内会やまちづくり協議会を始めとした地域住民等の積極的な防犯活動によるものと考えられる。今後も、引き続き関係者が連携して、様々な防犯活動に取り組んでいきたい。
- ・指標3)は、策定時(H25)より0.9件、H26より0.2件減少した。これは、高浜市交通安全協会、碧南高浜安全運転管理協議会、碧南警察など、関係者が連携して取り組んだ交通事故抑止活動が功を奏したと思われる。今後も、引き続き関係者が連携して、地道に交通安全活動を実施していきたい。
- ・「市民意識調査」の結果は、策定時(H25)より0.5%、H26より1.3%増加している。今後も、関係者が連携して「自助」「共助」「公助」を基本とした防災・防犯対策等に取り組む中で、「市民一人ひとりが安全・安心を実感できるまち」を目指していきたい。

#### 4. 「目標」と「みんなで目指すまちづくり指標」の適切性

##### 指標1) 自分自身が災害(地震や風水害など)への備えができていると思う人の割合

設定根拠	H25「市民意識調査結果」(速報値): 33% H26 前年度より3%アップ : 36% H27 // : 39% H28 // : 42% H29 // : 45%
指標の見直し	・なし
目標値の適切性	・災害の規模が大きくなるほど行政が担う「公助」には限界があり、自身や家族、地域で行う「自助」「共助」の取り組みが重要となる。指標の「自分自身が災害(地震や風水害など)への備えができていると思う人の割合」は、「自助」の取り組みの現状を把握し、必要な対策を講じる上で、適切な指標である。

##### 指標2) 人口1,000人あたり犯罪発生件数

設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年の犯罪発生件数(人口1,000人あたり) 【高浜市】</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>H20年</th> <th>H21年</th> <th>H22年</th> <th>H23年</th> <th>H24年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>819</td> <td>705</td> <td>653</td> <td>563</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>44,625</td> <td>44,987</td> <td>45,286</td> <td>45,801</td> <td>45,888</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>18.4</td> <td>15.7</td> <td>14.4</td> <td>12.3</td> <td>12.6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去5年間で最低であるH23の12.3件≒12.0件以下とする。</li> </ul>	年次	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	件数	819	705	653	563	580	人口	44,625	44,987	45,286	45,801	45,888	件数	18.4	15.7	14.4	12.3	12.6
年次	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年																				
件数	819	705	653	563	580																				
人口	44,625	44,987	45,286	45,801	45,888																				
件数	18.4	15.7	14.4	12.3	12.6																				
指標の見直し	・なし																								
目標値の適切性	・指標の「犯罪発生件数(人口1,000人あたり)」は、過去の発生率や他市との比較をする上で、有効かつ適切な指標である。																								

##### 指標3) 人口1,000人あたり交通事故発生件数

設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年の交通事故発生件数(人口1,000人あたり) 【高浜市】</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>H20年</th> <th>H21年</th> <th>H22年</th> <th>H23年</th> <th>H24年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>247</td> <td>179</td> <td>210</td> <td>207</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>人口</td> <td>44,625</td> <td>44,987</td> <td>45,286</td> <td>45,801</td> <td>45,888</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>5.5</td> <td>4.0</td> <td>4.6</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去5年間で最低であるH21の4.0件以下とする。</li> </ul>	年次	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	件数	247	179	210	207	205	人口	44,625	44,987	45,286	45,801	45,888	件数	5.5	4.0	4.6	4.5	4.5
年次	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年																				
件数	247	179	210	207	205																				
人口	44,625	44,987	45,286	45,801	45,888																				
件数	5.5	4.0	4.6	4.5	4.5																				
指標の見直し	・なし																								
目標値の適切性	・指標の「交通事故発生件数(人口1,000人あたり)」は、過去の発生率や他市との比較をする上で、有効かつ適切な指標である。																								

## Ⅱ. 目標達成のための取り組み

### 1. 「こんなことに取り組みます！」を構成するアクションプラン一覧

こんなことに取り組みます！	アクションプラン事業名	
(1) 市民・地域・事業者・関係機関と連携した総合的・機動的な防災体制を構築し、減災対策や実践を想定した取組みを強化します。	H26	【No.39】 防災ネットワーク推進事業 【No.40】 公共下水道事業（雨水）
	H27	【No.38】 防災ネットワーク推進事業 【No.39】 公共下水道事業（雨水）
	H28	【No.38】 防災ネットワーク推進事業
	H29	【No.36】 防災ネットワーク推進事業
(2) 防災教育や防犯講話などを通じて、「自らの安全は自ら守る（自助）」、「地域の安全は地域で守る（共助）」という意識を高める取組みを強化します。	H26	【No.39】 防災ネットワーク推進事業 【No.41】 防犯対策推進事業
	H27	【No.38】 防災ネットワーク推進事業 【No.40】 防犯対策推進事業
	H28	【No.38】 防災ネットワーク推進事業 【No.39】 防犯対策推進事業
	H29	【No.36】 防災ネットワーク推進事業 【No.37】 防犯対策推進事業
(3) 「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」をふまえて、地域・警察・関係機関と連携し、事件・事故の未然防止活動を推進します。	H26	【No.41】 防犯対策推進事業
	H27	【No.40】 防犯対策推進事業
	H28	【No.39】 防犯対策推進事業
	H29	【No.37】 防犯対策推進事業
(4) 市民一人ひとり、特に高齢者や子どもの交通事故防止に向けた取組みを進めます。	H26	【No.42】 交通安全啓発事業
	H27	【No.41】 交通安全啓発事業
	H28	【No.40】 交通安全啓発事業
	H29	【No.38】 交通安全啓発事業

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(1) 市民・地域・事業者・関係機関と連携した総合的・機動的な防災体制を構築し、減災対策や実践を想定した取組みを強化します。		
アクションプラン 事業名	H26・H27 防災ネットワーク推進事業 公共下水道事業（雨水） H28・H29 防災ネットワーク推進事業	担当部・グループ	都市政策部 都市防災グループ 都市政策部 上下水道グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①防災ネットきずこう会や市総合防災訓練を開催し、地域防災ネットワークの構築を進めた。		H26.6～
	②雨水管整備工事を実施した。 〔 八反田第一排水区(向山町五丁目地内) 〕		H26.7～ H27.1
	③町内会に、防災資機材(救助工作セット、リアカー等)を配布した。		H27.1
平成27年度	①防災リーダー養成講座(基礎編・避難所編)を開催した。		H27.7～
	②市総合防災訓練を開催した。		H27.9
	③公共下水道事業(雨水)において、「社会資本総合整備計画Ⅱ」の策定を行った。		H28.2
平成28年度	①退官自衛官を「防災専門官」として採用した。		H28.4～
	②防災リーダー養成講座(基礎編・避難所運営編)を開催した。		H28.6～7
	③備蓄用食糧(アルファ米等)・避難所用資機材(浄水機等)を購入した。		H28.6～
	④町内会やまちづくり協議会等と協働し、市総合防災訓練を実施した。		H28.9
平成29年度 (予定)	①町内会やまちづくり協議会と協働して、避難行動チェックリスト等を見直す。		H30.3
	②防災リーダー養成講座(フォローアップ編)を新たに開催する。		H30.3
	③事業者の防災・減災力の強化に向けた活動を、NPO法人等と連携して実施する。		H30.3
	④地域・事業者・行政による課題の共有、連携体制を図る機会を設置する。		H30.3
「目標が達成された姿」の実現に向けての成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ネットきずこう会や市総合防災訓練などの各種取組みを通じ、市民や地域の防災・減災力の向上を図ることができた。</li> <li>・平成27年度より開催した防災リーダー養成講座では、2年間で延べ140名を超える市民に参加いただき、地域の要となる防災リーダーを養成することができた。また、外国人の割合が高い本市において、平成27年度より外国人向けの防災訓練を実施することで、外国人に対する防災・減災力の向上を図ることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波の恐れがある沿岸部の企業など、事業者を巻きこんだ防災ネットワークの構築に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・災害時には、市民一人ひとりが安心して冷静な避難行動がとれるよう、地域の声を聞きながら継続的に地域行動計画(避難行動チェックリスト等)の見直しを図る必要がある。</li> </ul>		
特記事項	・なし		

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(2)防災教育や防犯講話などを通じて、「自らの安全は自ら守る(自助)」、「地域の安全は地域で守る(共助)」という意識を高める取組みを強化します。		
アクションプラン 事業名	H26～H29 防災ネットワーク推進事業 防犯対策推進事業	担当部・グループ	都市政策部 都市防災グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①子どもを含んだ防災教育の推進を図った。		H26.7～
	②愛知県が公表した最新の被害想定を踏まえ、東海地震・東南海地震・南海地震被害予測調査説明会を開催した。		H26.11
	③警察署と連携し、防犯講話、防犯教室を開催した。		随時
平成27年度	①防犯講話、防犯教室などを開催した。		H27.4～
	②外国人向け防災訓練を開催した。		H27.11
平成28年度	①退官自衛官を「防災専門官」として採用した。		H28.4～
	②防災リーダー養成講座(基礎編・避難所運営編)を開催した。		H28.6～7
	③備蓄用食糧(アルファ米等)・避難所用資機材(浄水機等)を購入した。		H28.6～
	④町内会やまちづくり協議会等と協働し、市総合防災訓練を実施した。		H28.9
	⑤年金支給日に併せた特殊詐欺撲滅キャンペーンや多くの市民が利用する駅周辺、スーパー等での啓発活動を実施した。		H28.4～
	⑥青色防犯パトロール(地域団体、委託業者)を実施した。		H28.4～
	⑦防犯灯などの防犯施設の維持・管理を実施した。		H28.4～
	⑧愛知県警が配信する「パトネットあいち」や高浜市防災メールを活用し、犯罪発生状況や地域安全情報等を提供した。		H28.4～
平成29年度 (予定)	①町内会やまちづくり協議会と協働して、避難行動チェックリスト等を見直す。		H30.3
	②防災リーダー養成講座(フォローアップ編)を新たに開催する。		H30.3
	③事業者の防災・減災力の強化に向けた活動を、NPO法人等と連携して実施する。		H30.3
	④地域・事業者・行政による課題の共有、連携体制を図る機会を設置する。		H30.3
	⑤関係機関と連携して、防犯講話、防犯教室、啓発活動等を実施する。		H30.3
	⑥青色防犯パトロール(地域団体、委託業者)を実施する。		H30.3
	⑦防犯灯などの防犯施設の維持・管理を実施する。		H30.3
	⑧住宅侵入盗や子ども等に対する防犯対策として、通学路でもある交差点付近に防犯カメラを設置する。		H29.9

<p>「目標が達成された姿」の実現に向けての成果・課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全ての小学校において、高学年を対象に防災・防犯をテーマとした総合学習に取り組むとともに、「高浜の防災を考える市民の会」が中心となり、小学4年生から6年生を対象とした「子ども防災リーダー養成講座」、中学1年生から3年生までを対象とした「中学生防災・減災アカデミー」を開催するなど、子どもたちへの防災・防犯教育を推進することができた。</li> <li>• 町内会や各種団体などに対し、防災・防犯講話等を実施し、「自助」「共助」の重要性等について、周知や意見交換を図ることができた。</li> <li>• パトロールなど、地域や関係団体と連携した各種防犯活動を実施することで、犯罪発生件数の減少に寄与することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「自助」「共助」「公助」の役割分担と重要性について理解している市民を増やすため、今後も講話や訓練などを通じ、継続的に対策を講じていく必要がある。</li> </ul>
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• なし</li> </ul>

2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容		
こんなことに取り組みます！	(3)「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」をふまえて、地域・警察・関係機関と連携し、事件・事故の未然防止活動を推進します。	
アクションプラン 事業名	H26～H29 防犯対策推進事業	担当部・グループ 都市政策部 都市防災グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する	いつ(年月)
平成26年度	①地域等との協働により、防犯活動、青色回転灯車による防犯パトロール、夜間パトロール、深夜パトロールを実施した。	H26.4～ H27.3
	②防犯灯などの防犯施設の維持・管理を実施した。	H26.4～ H27.3
	③防犯ネットワーク会議の設置に向けて、自主防犯活動に取り組んでいる団体(まちづくり協議会、町内会、市民団体、事業者等)に参加を呼び掛けた。	H27.2～3
平成27年度	①青色防犯灯パトロール(地域団体、委託業者)を実施した。	H27.4～
	②防犯灯などの防犯施設の維持・管理を実施した。	H27.4～
	③犯罪発生を抑止を目的として、市内3駅に防犯カメラを設置した。また、ライオンズクラブからの寄贈により、高浜ふれあいプラザにも防犯カメラを1台設置した。	H28.2
平成28年度	①年金支給日に併せた特殊詐欺撲滅キャンペーンや多くの市民が利用する駅周辺、スーパー等での啓発活動を実施した。	H28.4～
	②青色防犯パトロール(地域団体、委託業者)を実施した。	H28.4～
	③防犯灯などの防犯施設の維持・管理を実施した。	H28.4～
	④愛知県警が配信する「パトネットあいち」や高浜市防災メールを活用し、犯罪発生状況や地域安全情報等を提供した。	H28.4～
平成29年度 (予定)	①関係機関と連携して、防犯講話、防犯教室、啓発活動等を実施する。	H30.3
	②青色防犯パトロール(地域団体、委託業者)を実施する。	H30.3
	③防犯灯などの防犯施設の維持・管理を実施する。	H30.3
	④住宅侵入盗や子ども等に対する防犯対策として、通学路でもある交差点付近に防犯カメラを設置する。	H29.9
「目標が達成された姿」の実現に向けての成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度より、従来の防犯委員会(町内会防犯部長等で構成)を改め、まちづくり協議会や警察等を加えた「防犯ネットワーク会議」を新たに立ち上げたことで、関係者が連携して各種防犯対策に取り組むことができた。</li> <li>名鉄三河線の駅前ロータリーなどに防犯カメラを設置したことで、犯罪の早期解決や犯罪抑止に繋がるとともに、録画映像が犯人逮捕の一助となるなど、一定の効果が見られた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年増加傾向にある高齢者を狙った特殊詐欺対策など、引き続き「防犯ネットワーク会議」を軸として、関係者が連携・協力して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	
特記事項	・なし	



2. 「こんなことに取り組みます！」の実施内容			
こんなことに取り組みます！	(4)市民一人ひとり、特に高齢者や子どもの交通事故防止に向けた取組みを進めます。		
アクションプラン 事業名	H26～H29 交通安全啓発事業	担当部・グループ	都市政策部 都市防災グループ
実施内容	何を・どのように・どうした(どうする) ※箇条書きで記載する		いつ(年月)
平成26年度	①交通安全活動、一斉大監視活動、街頭啓発活動などを実施した。		H26.4～ H27.3
	②高齢者と子どもに対する交通安全教室を行った。		H26.4～ H27.3
	③民生委員へ高齢者宅訪問時に交通安全を依頼、交通安全教室を開催した。		随時
平成27年度	①交通安全活動（一斉大監視、街頭啓発など）を実施した。		H27.4～
	②イベント時に交通安全誘導を実施した。		H27.4～
	③交通安全教室、交通安全講習会を開催した。		H27.4～
平成28年度	①交通安全活動（一斉大監視、街頭啓発など）を実施した。		H28.4～
	②イベント時に交通安全誘導を実施した。		H28.4～
	③交通安全教室、交通安全講習会を実施した。		H28.4～
	④交通安全施設（標識、看板など）の維持・管理を実施した。		H28.4～
平成29年度 (予定)	①一斉大監視、街頭啓発、早朝パトロールなど、交通安全活動を実施する。		H30.3
	②市民レガッタやシティマラソンなど、イベント時に交通安全誘導を実施する。		H30.3
	③子どもや高齢者を対象とした交通安全教室、交通安全講習会を実施する。		H30.3
	④交通安全標識、看板などの交通安全施設の維持・管理を実施する。		H30.3
「目標が達成された姿」の実現に向けての 成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高浜市安全協会、碧南高浜安全運転管理協議会、碧南警察など、関係者が連携して各種交通安全対策に取り組んだ結果、交通事故発生件数の減少に寄与することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策には特効薬がないことから、引き続き関係者が連携して各種対策を地道に実施していく必要がある。</li> </ul>		
特記事項	・なし		

### Ⅲ. 今後の取り組みの方向性

#### 1. 今後予想される社会変化や動向、新たな課題

- ・近年、災害は大規模化・多様化しており、今後30年以内の発生確率が70%程度と言われている「南海トラフ巨大地震」や、予測が難しいと言われている「ゲリラ豪雨」等が発生すると、社会経済の停滞など、この地域が受ける影響は大きい。また、災害の規模が大きいほど、行政が担う「公助」には限界があり、災害リスクを軽減するためにも、平常時から「自助」「共助」に基づく防災・減災力の強化を図ることが重要となる。
- ・高齢者が加害者となる交通事故、多様化する高齢者を狙った特殊詐欺など、高齢化社会に即した各種交通安全・防犯対策等が求められる。また、行政や警察に加え、地域の関係団体や企業等とも連携した取り組みが重要となる。

#### 2. 今後、特に力を入れる取り組み（優先度の高いもの3つ）

##### (1) 「自助」「共助」に基づく地域防災力の強化

- ・大規模な地震やゲリラ豪雨などの風水害等に備えるためには、市民一人ひとりが「自助」「共助」を意識した防災・減災対策に積極的に取り組む必要がある。

##### (2) 犯罪発生件数の減少対策の強化

- ・町内会、まちづくり協議会、警察等で構成される「高浜市防犯ネットワーク会議」を軸に、関係者が連携して防犯対策に積極的に取り組む必要がある。特に、近年、被害が増大している特殊詐欺など、高齢者に対する防犯対策を推進する必要がある。

##### (3) 交通事故発生件数の減少対策の強化

- ・交通安全対策には特効薬はないが、高浜市交通安全協会、碧南高浜交通安全運転管理者協議会など、関係機関と連携し地道に取り組む必要がある。特に、近年、高齢者が加害者となる交通事故が全国各地で発生していることから、運転免許証の自主返納の促進など、高齢者に対する交通安全対策を推進する必要がある。

### Ⅳ. 施策(目標)構成の検証

- ・安心、安全の基本である、防災、防犯、交通安全により施策目標が構成されており、特に変更はない。